



広い心

学校便り 14号
令和7年 12月5日
宮古島市立 狩俣小学校
発行者：校長 喜屋武真史

宮古特別支援学校交流会



11月27日(木)、宮古特別支援学校(以下、宮古特支校)との交流会を行いました。1学期に、狩俣小児童が宮古特支校を訪問し交流を楽しんだ経緯があるため、両校ともに「再会」を楽しむ和やかな雰囲気で交流会が始まりました。まずははじめに、狩俣小児童による「歓迎の校歌ダンス」と宮古特支校児童の「お返しの校歌ダンス」で幕開けとなりました。いつになく真剣に踊る姿に「交流を楽しんでほしい」という児童の気持ちを感じました。次に、ボール運びゲームや仲間づくりゲームをしました。体が不自由な児童を気遣いながらも、自然にハイタッチをしていたり声援を送り合ったりして、みんなが笑顔でゲームを楽しんでおり、「勝ち負けではなく純粋に関わることを楽しんでいるのだなあ」と温かい気持ちになりました。また、思いがけず嬉しかったことは、ゲームの合間の休憩時間などに、「先生、○○さん(宮古特支校の児童)のところに話に行ってもいいですか？」と、進んで交流しようとする児童の姿があったことです。教師が設定した交流活動のみならず、自主的に「話したい」という気持ちになっていることに感動を覚えました。

普段は別々の学校に通っていても、「同じ宮古島で暮らす仲間」として生活地域でも交流を続け、「みんなが笑顔の社会を、共に創っていってほしい」と願います。



情報モラル教室



11月28日(金)、情報モラル教室を開きました。沖縄本島から招聘した講師の先生は(高宮城 修)先生です。スマートフォンなどの電子機器を上手に使っていくために大切なことを沢山教えてくださいました。「スマホやゲームは1日30分以内」「30分使ったら30秒目を休める(木などの緑を見る)」「使いすぎると目に異常が出て、スポーツなどに影響が出る」「毎日、1分程度でも縄跳びをすると健康的で有効(ジャンプすること)」などが、子供たちには特に印象的だったのではないかと思います。今後、ますます生活に欠かせなくなるであろう電子機器を上手に扱い、健康的で豊かな生活を送ってほしいと願います。

